

47都道府県ウォーク完歩

日本ウォーキング協会が主催し、全国の主要ウォーキング大会を歩く「オールジャパンウォーキングカップ(AJWC)」で、鳥取市気高町新町2丁目の江谷孝明さん(67)が11月に神奈川県で開かれた大会に参加、完歩して47都道府県の大会を全制覇した。同協会から表彰された江谷さんは、足かけ6年を費やしての偉業に達成感を味わっている。



47都道府県の主要ウォーキング大会を完歩し、表彰とパスポートを手にする江谷さん(倉吉市内)

気高の江谷孝明さん

「目標の一つが達成できた。大会参加への環境をつくってくれた元職場や仲間、家族に感謝したい」と話す江谷さん。健康づくりが目的で始めたウォーキングは、歩く面白さを知り、同協会の公認ウォーキング指導員の資格を取得。倉吉市のNPO法人未来にも所属し、未来ウォークPR隊長として、全国の大大会に参加することで広報に尽力している。AJWCへの挑戦は、2010年3月の岡山県の「瀬戸内倉敷

主要大会 6年かけ達成

ツアー「マーチ」が皮切り。年間1大会しかない自治体や日程の重複に加え、大会によっては2〜3日間の出場条件もある。自己の体調も影響が大きく、47都道府県を制覇するのは至難の業だった。車中泊をしながら、妻の康子さん(68)とこつこつと参加。仕事に区切りをつけた今年4月からは北海道、東北6県を一気に制覇し、11月の神奈川県までこぎつけた。

江谷さんは「歩いてこそ見える景色があり、その土地をより深く知ることができる。最高なのは人との交流が広がること」と話す。近く、各大会の完歩の判が押印されたパスポートを同協会に送る。AJWC達成が正式に認定されると鳥取県内では初となる。次の目標は地球1周に当たる4万キロの走破。ウォーキングタイアリーを手に、毎日の距離数を記録しており、現在は2万5千キロを超えている。「1日10キロ歩いても目標まで4年かかるが、75歳までは元気に歩きたいと思っている。成し遂げたい」と意欲に燃えている。